

## 「冷戦と台湾海峡危機一九五四～六五年」

本講座では、今年6月に刊行した本『冷戦と台湾海峡危機一九五四～六五年』（白水社）の内容紹介を行います。

本書は、1954～55年の第一次台湾海峡危機、1958年の第二次台湾海峡危機、1960年代前半の「未完の台湾海峡危機」に焦点を当て、米台関係の展開を軸に、米国、台湾、中国三者がそれぞれいかなる戦略や政策を構想し、相互に影響を及ぼしたのかを、外交史料に基づき明らかにしたものです。

講演では、台湾の蒋介石政権が構想した「大陸反攻」と、金門・馬祖島などの大陸沿岸諸島をめぐる米台間の対立、さらには米国の台湾政策の変化をたどりながら、今日まで続く台湾海峡の現状維持が形成されてきた過程を考察します。

冷戦時代の台湾海峡危機を振り返ることで、今日の米中台関係や緊迫する台湾海峡情勢への理解が深まれば幸いです。

参加費  
無料

2026

9/4（金）

14:00～15:30

オンライン（Zoomウェビナー形式）

## ■「冷戦と台湾海峡危機 一九五四～六五年」

講演：松本 はる香

アジア経済研究所 新領域研究センター

主任調査研究員

## ■質疑応答



『冷戦と台湾海峡危機』  
（白水社 2026）

申し込み締め切り：9月2日（水）13:00

※ただし、配信可能人数に達した場合、事前に締め切らせて頂きます。

## 詳細・お申し込み

ジェトロ・アジア経済研究所ウェブサイト

<https://www.ide.go.jp/Japanese/Event/Seminar/260904.html>
